

名 称	雨畑湖景観保存地区
場 所	南巨摩郡早川町雨畑
所有区分	県有林、民有林
面 積	216.69ha
標 高	400～1,100m
指定年月	昭和 47 年 10 月 30 日

指定理由

雨畑湖は、雨畑川をせき止めてつくられたもので、本県の水力発電用としてつくられた人造湖の中ではもっとも大きな規模を有している。

湖水周辺の山岳には、中生代の見事な粘板岩の露頭がみられ、湖岸には暖地系のヤブツバキ、ウラジログシ、シラカシ等が分布し、その上部にはミズナラ、イタヤカエデ、ブナ、ヒメシャラなどの天然林と、スギ、ヒノキの人工美林がよく調和しており、特に岩壁に咲く春のツツジとツバキが美しく、秋の紅葉がすばらしい。

湖の南部には、高さ約 50m の雄大な見神の滝があり、東部には七面山がそびえ立っている。



撮影日：平成 20 年 9 月 2 日